

令和5年度  
事業評価書

厚生部 健康介護課

令和5年度 事業評価書

事業概要 **ひとり暮らし高齢者が地域で安心して生活できる地域づくりを支援します**

担当課 健康介護課  
高齢者介護係 内線133・134

予算科目 3 款 1 項 2 目 1 事業 老人福祉一般管理費

予算額	69,906千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	66,838千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	3,068千円
決算額	2,503千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	151千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,352千円

計画 (PLAN)

主な事業	高齢者見守り事業	高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業
事業内容	75歳以上ひとり暮らし高齢者を町職員が見守りを目的に2か月に1回訪問します。	高齢者福祉及び介護保険事業の基本的な目標を定め、その方向性を示し、必要な施策とその取組を総合的かつ体系的に推進するため「南知多町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画」を策定します。
基本施策① ※①	1-5 安心して住み続けられる長寿社会	1-5 安心して住み続けられる長寿社会
基本施策② ※①		1-3 生涯通じて取り組む健康づくり
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1 2 3	1 2 3

実施 (DO)

主な事業	高齢者見守り事業	高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業
予算額	98,000円	2,877,000円
決算額	78,000円	2,266,000円
財源 (一般財源)	78,000円	2,266,000円
(その他)	0円	0円
執行率	79.6%	78.8%
事業実績	高齢者見守り事業対象高齢者数 444人	「南知多町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画」を策定

評価 (CHECK)

事業指標	見守り実施回数	計画策定のための運営協議会の開催
目標値	6回/年	4回/年
実績値	6回/年	4回/年
達成度	達成	達成
担当課評価 ※③	訪問を楽しみにしてくれている高齢者も見られます。担当グループによっては、訪問回数を確保できない地区もありました。	運営協議会を予定どおり開催し、計画を策定することができました。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	地区によって訪問回数に差が出ており、2か月に一度の安否確認が取れていない人がいます。	高齢化率が増加の一途をたどっており、介護保険制度の持続の確保が必要です。
改善・対応策	どうしても訪問する時間が取れない場合は、最低でも電話連絡を取ってもらうなど、2か月に一度の安否確認を徹底します。	計画に沿った運用ができるように、基本目標の実現に向けた業務内容を検討していきます。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照  
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援  
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価  
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低  
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和5年度 事業評価書

事業概要

福祉敬老フェアの開催や百歳高齢者の記念品の授与など高齢者の敬老に係る事業を実施します

担当課 健康介護課  
高齢者介護係 内線133・134

予算科目

3 款 1 項 2 目 2 事業 高齢者敬老事業費

予算額 1,087千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 500千円 一般財源 587千円

決算額 858千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 858千円 一般財源 0千円

計画 (PLAN)

実施 (DO)

主な事業	福祉敬老フェア事業	百歳高齢者町長表敬訪問事業
事業内容	老人福祉の増進、地域福祉の啓発等を目的に、地域の介護・福祉事業所等と連携し、南知多町福祉敬老フェアを開催する。 ・式典の開催 ・事業所等啓発ブースの設置 ・敬老コンテストの実施	町長が百歳高齢者の方を訪問し、ご長寿をお祝いします。
基本施策① ※①	1-5 安心して住み続けられる長寿社会	1-5 安心して住み続けられる長寿社会
基本施策② ※①	1-3 生涯通じて取り組む健康づくり	1-3 生涯通じて取り組む健康づくり
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1 2 3	1 2 3

主な事業	福祉敬老フェア事業	百歳高齢者町長表敬訪問事業
予算額	1,002,000円	85,000円
決算額	822,553円	35,376円
財源 (一般財源)	822,553円	35,376円
(その他)	0円	0円
執行率	82.1%	41.6%
事業実績	来場者370人	町長表敬対象者 8人

評価 (CHECK)

改善 (ACTION)

事業指標	一般来場者数	百歳高齢者訪問率 (訪問可能な方)
目標値	目標値 400名【実績 370名】	100%
実績値	92.5%	100%
達成度	未達成	達成
担当課評価 ※③	イベントとしては来場者に楽しんでもらっていますが、福祉事業所のPRや人材確保など当初の目的からずれています。	地域での長年の貢献を敬い、町長が直接訪問することで長寿を祝うことができました。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 ② 3 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

課題	福祉事業所のPRや人材確保につながっていません。	訪問できる健康状態ではない方や恥ずかしくて訪問を拒む方もいます。
改善・対応策	人材確保につながるように日本福祉大学などにPRをする。実行委員会を事業所主体に移行し、事業所の継続意思が弱ければ縮小を検討します。	特になし。郵送等にて対応。
推進方針 ※⑤	C	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照  
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援  
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価  
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低  
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和5年度 事業評価書

事業概要

日常生活に不安のあるひとり暮らしや在宅高齢者が安心して暮らせるために高齢者福祉サービスを実施します

担当課 健康介護課  
高齢者介護係 内線133・134

予算科目 3 款 1 項 2 目 3 事業 在宅福祉事業費

予算額 5,159千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 104千円 町債 0千円 その他 25千円 一般財源 5,030千円

決算額 4,356千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 126千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 4,230千円

計画 (PLAN)

実施 (DO)

主な事業	在宅福祉サービス事業					
事業内容	高齢者や障がい者を含む要介護者を対象とした福祉サービスを提供します。 寝具洗濯乾燥サービス事業 紙おむつ給付事業 在宅老人短期宿泊事業 緊急連絡通報システム扶助 介護保険離島交通費扶助 障害者ホームヘルプサービス扶助					
基本施策① ※①	1-5	安心して住み続けられる長寿社会				
基本施策② ※①	1-4	個性を活かす障がい者福祉				
基本施策③ ※①	1-3	生涯通じて取り組む健康づくり				
重点政策 ※②	1	2	3	1	2	3

主な事業	在宅福祉サービス事業	
予算額	5,159,000円	
決算額	4,356,344円	
財源 (一般財源)	4,230,344円	
(その他)	126,000円	
執行率	84.4%	
事業実績	寝具洗濯乾燥サービス事業 1人 紙おむつ給付事業 121人 緊急連絡通報システム扶助 10人 介護保険離島交通費扶助 11事業者 障害者ホームヘルプサービス扶助 1人 (在宅老人短期宿泊事業は該当なし)	

評価 (CHECK)

改善 (ACTION)

事業指標	事業の周知及びサービス内容の見直し検討回数					
目標値	1回/年					
実績値	1回/年					
達成度	達成					
担当課評価 ※③	各事業を適切に実施できました。					
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い	1	2	3	4	⑤ 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い	1	2	3	④ 5	高い

課題	現代のニーズや環境の変化に沿ったサービスが提供できているかを検討する必要があります。	
改善・対応策	近隣市町を参考に、代替事業への転換を考えていきます。	
推進方針 ※⑤	B	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照  
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援  
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価  
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低  
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和5年度 事業評価書

事業概要 老人クラブ連合会及び単位老人クラブ、シルバー人材センターの活動を支援します

担当課 健康介護課  
高齢者介護係 内線133・134

予算科目 3 款 1 項 2 目 5 事業 高齢者福祉団体助成事業費

予算額	8,868千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	1,592千円	町債	0千円	その他	27千円	一般財源	7,249千円
決算額	8,867千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	1,440千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	7,427千円

計画 (PLAN)

主な事業	老人クラブ活動費補助事業	シルバー人材センター運営費補助事業
事業内容	多様な社会活動を通じ老後の生活を豊かなものとするとともに、明るい長寿社会づくりに資するため、老人クラブの育成指導と活動費を補助します。	高齢者自らの生きがいの充実や、社会参加を希望する高齢者の就業機会の増大を図るため、シルバー人材センターの運営費を補助します。
基本施策① ※①	1-5 安心して住み続けられる長寿社会	1-5 安心して住み続けられる長寿社会
基本施策② ※①	1-3 生涯通じて取り組む健康づくり	2-7 働く環境づくり
基本施策③ ※①	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	1-3 生涯通じて取り組む健康づくり
重点政策 ※②	1 2 3	1 2 3

実施 (DO)

主な事業	老人クラブ活動費補助事業	シルバー人材センター運営費補助事業
予算額	2,568,000円	6,300,000円
決算額	2,567,056円	6,300,000円
財源 (一般財源)	1,440,000円	6,300,000円
(その他)	1,127,056円	0円
執行率	100.0%	100.0%
事業実績	老人クラブ連合会数 1 単位老人クラブ数 42	シルバー人材センター状況 会員数 128人 受注件数 846件 受託事業収入 46,874千円 啓発活動 広報掲載 1回/年 シルバー通信の発行 2回/年

評価 (CHECK)

事業指標	老人クラブ数及び会員数の維持	シルバー人材センター運営状況の把握
目標値	老人クラブ数 42クラブ、会員数 4,300人	1回/年
実績値	老人クラブ数 43クラブ、会員数 4,198人	1回/年
達成度	達成	達成
担当課評価 ※③	老人クラブの支援のため、活動状況に応じて補助を行いました。	運営状況の把握し、適正な補助金額や交付方法を次年度予算に反映することができました。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 ④ 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 ④ 5 高い

改善 (ACTION)

課題	単位老人クラブ活動の維持・継続のため、活動が活発になる提案ができていません。	今後の運営状況による交付額の見直し時期の把握ができていません。
改善・対応策	eスポーツや健康麻雀など新たな活動事例を連合会を通じて周知していきます。	運営状況や決算状況を分析し、事務局と協議のうえ交付額の見直しを行います。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照  
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援  
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価  
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低  
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和5年度 事業評価書

事業概要 介護保険制度の適切な運用に努めます

担当課 健康介護課  
高齢者介護係 内線133・134

予算科目 介護保険特別会計

予算額	2,007,000千円	財源内訳	一般会計繰入金	299,268千円	その他	1,707,732千円
決算額	1,940,387千円	財源内訳	一般会計繰入金	299,291千円	その他	1,641,096千円

計画 (PLAN)

主な事業	保険給付	地域支援事業
事業内容	介護サービス費の保険者負担分を支出します。	要支援認定を受けた人やチェックリストにより生活機能の低下が見られた人が利用できる「介護予防・生活支援サービス」及び65歳以上のすべての人が利用できる「一般介護予防事業」等を実施します。
基本施策①	1-5 安心して住み続けられる長寿社会	1-5 安心して住み続けられる長寿社会
基本施策②		1-3 生涯通じて取り組む健康づくり
基本施策③		3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ
重点政策	1 2 3	1 2 3

実施 (DO)

主な事業	保険給付	地域支援事業
予算額	1,885,710,000円	93,577,000円
決算額	1,761,402,740円	84,437,175円
財源 (一般財源)	235,713,000円	13,959,000円
(その他)	1,525,689,740円	70,478,175円
執行率	93.4%	90.2%
事業実績	第1号被保険者数 6,455人 要介護 (要支援) 認定者数 997人	1. 介護予防・生活支援サービス事業 2. 一般介護予防事業 3. 包括的支援事業 4. 任意事業 5. 在宅医療・介護連携推進事業 6. 生活支援体制整備事業 7. 認知症総合支援事業 8. 地域ケア会議推進事業

評価 (CHECK)

事業指標	保険者負担分の支出	高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画に基づく評価
目標値	12回/年	1回/年
実績値	12回/年	1回/年
達成度	達成	達成
担当課評価 ※③	介護サービス費の保険者負担分の支払いが適正に行えました。	厚生労働省が示す評価指標による自己評価を行い、地域の実情に合った地域包括ケアシステムの推進に役立てています。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い

改善 (ACTION)

課題	改善・対応策	推進方針 ※⑤
介護報酬の増により、介護給付費が増加していくことが見込まれます。	介護予防事業を充実させ、住民の健康寿命延伸を図ります。	A B
財源や人的資源、活動場所が少なく限定的になっています。	医療・介護・予防など高齢者に関わる分野の専門職や関係者が連携し、優先順位をもってサービスを提供していける支援体制づくりを進めていきます。	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照  
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援  
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価  
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低  
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討